



青き地球を憧れて

令和7年 3月26日発行
電話 2962-7118
FAX 2962-8297

発行責任者 入間市立東金子中学校長 飯塚 一博 生徒数【1年68名 2年93名 3年87名 青空7名 合計255名】

保護者・地域の皆様

令和6年度の教育活動が修了しました。この一年間東金子中学校の教育活動へのご理解・ご協力ありがとうございました。今年度は年度当初より通常のエデュケーション活動を行うことができました。しかし、今までは冬場に強化していた新型コロナ・インフルエンザ・マイコプラズマ肺炎等の感染症への対応は年間等しての対応となり、いつ学級閉鎖が起きてもおかしくない状況となっています。そのような中、無事本日を迎えることができたのは、一年間を通して生徒たちの健康管理に気を配っていただいた保護者の皆様のご協力のお陰でもあります。ありがとうございました。4月には、新しい生徒・教職員を迎えて令和7年度がスタートします。来年度も引き続き、東金子中学校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



青空学級校外学習 2月19日

青空学級校外学習は文字通り遠足でした。北風が強い中よく歩きました。まずは、肉まんが食べられることを楽しみに50分かけて中華まんミュージアムへ向かいました。最初から工場見学を想定した建物だそうで、設備・建物は見学しやすいように工夫されており、説明も分かりやすかったです。また、日本のセブン・イレブンで売られている中華まんは全てこの工場で作られているそうです。そして、大きな工場なのですが、工場で働いているのはたった30人で、一日40万個の肉まんを作っているそうです。従業員は、肉まんを作るのではなく、機械のメンテナンス等を行うそうで、驚くことばかりでした。見学後の肉まんは、作りたてで温かく、とても美味しかったです。

午後は、入間市博物館を見学しました。生徒たちは「子ども科学室」をととても気に入ってました。ハンドルを回して円盤を回すと基の白黒の模様に見える「いろいろ円盤」や自転車の車輪を回して傾けると身体も回転する「ジャイロハンドル」等体験していました。美味しいものを食べ、よく歩き、よく学んだ一日となりました。私は約19000歩歩きました。

認知症サポーター養成講座 2月28日

2024年9月現在の高齢者人口は3625万人、高齢者人口率は29.3%となりました。また、2025年には高齢者5人に一人約700万人が認知症になるという推計もあり、医療・介護費用や介護人材不足などの社会的課題がさらに深刻化することが予想されています。そこで、3年生が認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」の養成講座を受講しました。講座では認知症の方に出会った場合どのように行動するとよいか、体験を通して学びました。

対応のポイントは

- ・まずは見守る
- ・余裕を持って対応する
- ・声をかけるときは一人で
- ・後ろから声をかけない
- ・相手に目線を合わせ優しい口調で
- ・穏やかにはっきりとした滑舌で
- ・相手の言葉に耳を傾けてゆっくりとの7つだそうです。



3年生を送る会 3月7日

3年生を送る会は「卒業生がこれまで過ごしてきた学校生活を振り返り、思い出とともに自分たち（1・2・3年生）の成長を実感し、未来へ向けた一歩を誇りを持って踏み出すための場」とも言えます。特に在校生にとっては、「卒業生に感謝や激励などの思いを伝える。伝えきれないところは、恩送りすることを3年生に誓う。」「在校生で企画、運営を行い、卒業生がこれなら大丈夫と思って安心して卒業を迎えられるようにする。」「『2年は最上級生になる。』『1年生は先輩になる。』という自覚を持つ。」場となります。仲間と同じ時間・同じ場所で同じ事を経験し、感動することで、仲間と自分を大切にしようという心が育まれ、絆が深まると思います。今年も心温まる3年生を送る会となりました。

第42回卒業証書授与式3月14日

穏やかな春の日差しに囲まれて第42回卒業証書授与式が挙行されました。今年度の卒業生は、89名となり、合計7269名の卒業生が東金子中学校を卒業していきました。

今年の卒業生は、「守・破・離」を地で行く学年という印象でした。守はまもる、破はやぶる、離は、離れると漢字で表します。もとは茶道で有名な千利休の教えをまとめた『利休道歌』にある、「規矩作法 守り尽くして破るとも離れるとても本を忘るな」を引用したものとされています。3年間で「守・破・離」に当てはめると、1年生は「守：守る」の段階です。入学したての卒業生はまだ小学生の雰囲気抜けきれていませんでした。しかし、上級生の姿や先生方の教えに学び、本校で大切にしている「あいさつ・清掃・身だしなみ・時を守る」など、中学生としての型を身につけることができました。2年生は「破：やぶる」の段階です。様々な経験を積むことでリーダーが育つとともに、中学生としての自覚が高まり素直さを活かした学年の特色が徐々に出てきました。そして、3年生です。3年生は「離：離れる」の段階です。どのようにしたら、更に本校を発展させられるか、今までの先輩達を超えられるか、これまでの経験を生かし、自分たちで考え、日常生活を過ごすとともに行事にも取り組んでいました。そして、合唱コンクールの学年合唱「名付けられた葉」では、「ポプラの木にはポプラの葉、どんなに風が強くても誰の真似でもない生き方をする」と力強くバッシザールに響かせることができました。その姿は1・2年生に「あのようになりたい。」と憧れを抱かせるほど見事な合唱でした。また、体育祭の団練習では、最上級生として下級生を引っ張るとともに、東金子中学校の顔として力を発揮しました。まさに、3年間で大きく成長した学年でした。

そんな卒業生も3月14日に母校を巣立ちました。「本を忘るな」とあるとおり、教えを破り離れたとしても中学校で身につけた基礎・基本を忘れることなくこれからの人生を歩んでいってください。

<4月当初の予定>

4月7日（月）	準備登校	8：25	旧クラスの教室集合
8日（火）	入学式・始業式	8：00	新クラス発表



わたしも　いちまいの葉にすぎないけれど
あつい血の樹液をもつ
にんげんの歴史の幹から分かれた小枝に
不安げにしがみついた
おさない葉っぱにすぎないけれど

わたしは呼ばれる
わたしだけの名で　朝に夕に

だからわたし　考えなければならない
誰のまねでもない　葉脈の走らせ方を　刻みのいれ方を
せいいっぱい緑をかがやかせて　うつくしく散る法を

名づけられた葉なのだから　考えなければならない

どんなに風がつよくとも

東金子中はあたたかい学校です。本校生徒には「心」があります。
われわれ教職員も「心ある教育」に努めてまいります。
来年度もどうぞ、東金子中をあたたく見守ってください。